

日本の展望委員会 情報社会分科会（第 1 回）
議事要旨

1. 開催日時 平成 20 年 9 月 16 日（火）10：00～12：00

2. 開催場所 日本学術会議 5 階 5-B 会議室

3. 出席者（敬称略）

（委員）池田眞朗、直井優、斎藤成也、新山陽子、青山友紀、武市正人、
田中英彦、大江和彦、山口いつ子

（事務局）関、井上、大西、中島

4. 配布資料

資料 1 「日本の展望—学術からの提言（仮題）」についての考え方

資料 2 日本の展望委員会テーマ別検討委員会（分科会）でとりあげるテーマの説明

資料 3 日本の展望委員会 今後の進め方等について（案）

資料 4 日本の展望委員会 情報社会分科会名簿

参考 1 日本の展望委員会運営要綱

参考 2 日本の展望委員会名簿

追加資料 1 「日本の計画 Japan Perspective」（平成 14 年 9 月）

追加資料 2 日本の科学技術政策の要諦（平成 17 年 4 月）

追加資料 3 日本の展望委員会の下に設置される分野別作業分科会及び
テーマ別検討分科会の会議の開催について（案）

5. 議事

（1）委員長、副委員長及び幹事の選出

各委員からの自己紹介の後に、互選により、武市委員・連絡世話人が委員長として、また、池田委員が副委員長として選出された。加えて、山口委員を幹事とする。

（2）今後の活動内容について

1) 本分科会の設置の経緯、テーマ内容及び今後の進め方

武市委員長から、本分科会の設置の経緯、テーマ内容及び今後の進め方について、配布資料に基づいて説明が行われた。2009 年 8 月までに本分科会の報告書案（A4、20 頁以内を目処）を作成するために、報告書素案を 2009 年 4 月までにとりまとめる。また、今後、本分科会に必要な委員の追加や参考人等の参加についても検討を行う。

2) 本分科会における検討課題について

本分科会における検討課題について、委員間の意見交換が行われた。

- ・本分科会における検討にあたり、はじめに、「日本の展望委員会」の目的や、これまでの日本学術会議の長期展望に関する文書、第3期科学技術基本計画等についても、改めて確認しておく必要がある。
- ・今後、関連する委員会・分科会との情報交換を行いながら、本分科会で取り上げる具体的な検討事項を洗い出す作業を進めていく。そのための手掛かりとして、例えば、本分科会のテーマ「電子情報社会の課題と展望」の副題に掲げられたものの中で、「セキュリティ」に関して、情報学委員会セキュリティ・ディペンダビリティ分科会提言「安心・安全を実現する情報社会基盤の普及に向けて」（平成20年6月）が参考になる。また、「学術」について、学術情報のデポジトリやアーカイブに関する問題があるとともに、デジタル・ジレンマと称されるデジタル情報の保存をめぐる技術的な課題も存在している。「デモクラシー」や「文化」等に関し、情報へのアクセス、デジタル・ディバイドないし情報をめぐる意識面や技術面での格差の問題、インターネットが社会にもたらす影響、若い世代の人々の教育のあり方などについて、検討が求められている。加えて、近年では、インターネット上の著作権や、個人情報・プライバシー等の保護をめぐる、情報の流通と保護との間のバランスをいかに図るか、また、匿名性と可視性・追跡可能性との間のバランスを考慮した制度設計をいかにして行っていくかが活発に議論されている（こうした議論につき、法学委員会「IT社会と法」分科会報告「電子社会における匿名性と可視性・追跡可能性—その対立とバランス」（平成20年7月）を参照）。これらのように、情報や情報技術のいわば「表」と「裏」となる、ある軸の両方に位置するものを対比しながら、様々な課題の解決のあり方を、国際的な視点も踏まえつつ検討していくことが重要となると考えられる。
- ・本日の意見交換を踏まえて、次回の分科会までに、検討課題に関する各委員からの提案として、キーワードに一行または二行の説明を付したものをメールでとりまとめて、整理を行っていくこととする。

（3）次回の分科会の開催

次回について、場所は日本学術会議において、日時は当面の第一候補を10月23日10時から、第二候補を10月20日13時からとして、改めてメールで日程調整を行う。

（議事要旨作成者 山口）